

審査項目（道路の新設・改築）

区 分		基 準 値	計 画 値	結 果	備 考	
災 害 の 防 止	切 土	法 面 勾 配	土質・高さに応じた勾配（軟岩：60度）	1：1.5	適	
		切 土 量		116,300m ³		
		最 大 高 さ	10mを超える場合は、5~10m毎に幅1~2mの小段を設置	H=19.0m		
		小 段 幅		W=1.5m		
		小 段 間 の 高 さ		H=7m		
		崩 壊 防 止 措 置	雨水流入等の場合は、排水施設を設置	排水施設を設置		
		擁 壁 の 設 置	区域外に面する法面や、人家・学校等に近接する法面は擁壁を設置	-		
	盛 土	法 面 勾 配	土質・高さに応じた勾配（礫 1:1.5）	1：1.5~1：1.8	適	盛土勾配はNEXCOの『設計要領第一集土工建設編』による
		盛 土 量		28,000m ³		
		最 大 高 さ	原則 15m以下 15m 以上となる場合は所定の安全率（常時 1.5、地震時 1.2）を確保すると共に、盛土高 15m 毎に独立したアース堰堤となるように設置	H=7.0m		
		小 段 の 設 置	5~7m毎に1~2mの小段設置	H=5.0m 毎に 1 m		
		崩 落 防 止 措 置	雨水流入等の場合は、排水施設を設置	排水施設を設置		
	擁 壁	L 型	安定計算上安定すること	別紙のとおり	適	
		逆 T 型	常時 1.5 以上			
		重 力 式	地震時 1.2 以上			
		ブ ロ ッ ク 積	土木部ブロック積(石積)擁壁構造基準による			
砂 防 施 設			-			
	仮設沈砂池	必要容量 ①須川上り PA 280 m ³ ②須川下り PA 90 m ³ ③須川 PA 斜路部 15 m ³ ④須川本線 183 m ³ ⑤須川桁下 410 m ³ ⑥須川右岸 746 m ³ ①須川桁下仮設 58 m ³ ②須川本線 1,000 m ³ ③須川上り PA 15 m ³ ④須川下り PA +⑤須川上り PA 仮設 540 m ³	① 311 m ³ ② 117 m ³ ③ 16 m ³ ④ 183 m ³ ⑤ 452 m ³ ⑥ 748 m ³ ① 58 m ³ ② 1,072 m ³ ③ 15 m ³ ④ + ⑤ 304 m ³ + 257 m ³ = 561 m ³	適		

	堆砂柵	必要容量 A 3.043 m ³ B 3.578 m ³ C 0.231 m ³ D 0.115 m ³ E 0.225 m ³ F 0.059 m ³ G 0.420 m ³ 0.101 m ³ H 取りやめ 0.358 m ³ I 0.283 m ³ 0.233 m ³	A 3.044 m ³ B 3.580 m ³ C 0.231 m ³ D 0.115 m ³ E 0.225 m ³ F 0.059 m ³ G 0.450 m ³ 0.101 m ³ H 取りやめ 0.358 m ³ I 0.283 m ³ 0.233 m ³		
	河川改修	下流河川に1/1の流下能力がない場合	-		
	残土処理方法	搬出先を明記し許認可(写)を添付すること	-		
水害の防止	仮設調整池の基数		3基 1基		
	堤体の構造	原則コンクリート(掘込式可) コンクリートの場合の安全率 常時 1.5以上 地震時 1.2以上	①②③ 掘込式 ① 掘込式		
	堤体の高さ	原則として15m未満(築造式)	① 須川上りPA 3.3 m ② 須川下りPA 1.9 m ③ 須川PA斜路部 3.1 m ① 須川桁下仮設 2.3 m		
	堤頂厚	掘込式4m以上	-		
	上流法勾配 下流法勾配	掘込式の場合1:2.0以上 コンクリートの場合安定計算による	-		
	仮設調整池	必要容量 ① 須川上りPA 3,408 m ³ ② 須川下りPA 2,438 m ³ ③ 須川PA斜路部 742 m ³ ① 須川桁下仮設 246 m ³	計画容量 ① 3,460 m ³ ② 2,461 m ³ ③ 773 m ³ ① 189 m ³		適
	許容放流量	全体: 16.6 mm/h ① 須川上りPA 15.5 mm/h以下 ② 須川下りPA 16.6 mm/h以下 ③ 須川PA斜路部 16.6 mm/h以下 ④ 須川本線(本設) 15.1 mm/h以下 ⑤ 須川桁下(本設) 16.6 mm/h以下 全体: 17.6 mm/h ① 須川桁下仮設 17.8 mm/h以下 ② 須川本線(本設) 13.3 mm/h以下 ③ 須川上りPA(本設) 17.8 mm/h以下 ④ 須川下りPA(本設) 17.8 mm/h以下 Rc=15 mm/hを下回らないこと 又は24時間程度で調整池が空	全体: 16.5 mm/h ① 15.1 mm/h ② 16.4 mm/h ③ 16.3 mm/h ④ 15.1 mm/h ⑤ 16.5 mm/h 全体: 17.5 mm/h ① 17.8 mm/h ② 13.2 mm/h(22.8時間で空) ③ 17.7 mm/h ④ 17.8 mm/h		

		オリフィス	放流口断面 ① 須川上り PA 0.0241 m ² 以下 ② 須川下り PA 0.0292 m ² 以下 ③ 須川 PA 斜路部 0.0063 m ² 以下 ④ 須川桁下仮設 0.0021 m ² 以下	計画値 ① 0.0240 m ² ② 0.0289 m ² ③ 0.0062 m ² ④ 0.0017 m ²		
		放流管	流水断面積は管路断面積の3/4以下 ①須川上り PA 必要断面積 0.272 以上 計画放流量 1.684 m ³ /s ②須川下り PA 必要断面積 0.350 m ² 以上 計画放流量 1.261 m ³ /s ③須川 PA 斜路部 必要断面積 0.234 m ² 以上 計画放流量 0.385 m ³ /s ④須川桁下仮設 必要断面積 0.060 m ² 以上 計画放流量 0.091 m ³ /s	① 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 1.775 m ³ /s ② 3/4断面積 0.385 m ² (φ700) 流下能力 1.431 m ³ /s ③ 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 0.496 m ³ /s ④ 3/4断面積 0.283 m ² (φ600) 流下能力 0.711 m ³ /s		
		余水吐の構造	100年確率降雨流量の1.5倍以上 ① 1.684 m ³ /s 以上 ② 1.261 m ³ /s 以上 ③ 0.385 m ³ /s 以上 ④ 0.091 m ³ /s 以上	① 1.745 m ³ /s ② 1.745 m ³ /s ③ 1.745 m ³ /s ④ 0.448 m ³ /s		
本 設 調 整 池	調 整 池	調整池の基数		4基		適
		堤体の構造	原則コンクリート（掘込式可） コンクリートの場合の安全率 常時 1.5 以上 地震時 1.2 以上	コンクリート またはブロック積み （築造式） 安全率は別紙		
		堤体の高さ	原則として15m未満（築造式）	① 5.8 m ② 2.8 m ③ 8.9 m 6.8 m ④ 9.6 m 5.0 m		
		堤頂厚	掘込式4m以上	—		
		上流法勾配	掘込式の場合1:2.0以上	—		
		下流法勾配	コンクリートの場合安定計算による	—		
		調整容量	必要容量 ①須川本線 9,201m ³ ②須川桁下 624m ³ ③須川上り PA 5004m ³ ④須川下り PA 4095m ³	計画容量 ① 9,201 m ³ ② 625 m ³ ③ 5,004 m ³ 5,014 m ³ ④ 4,122 m ³ 4,111 m ³		

	許容放流量	<p>全体：13.9 mm/h 以下</p> <p>①須川本線 12.7 mm/h 以下 12.8 mm/h 以下</p> <p>②須川桁下 12.5 mm/h 以下</p> <p>③須川PA上り 12.9 mm/h 以下</p> <p>④須川PA下り 12.9 mm/h 以下 13.0 mm/h 以下</p> <p>Rc=15 mm/h を下回らないこと 又は 24 時間程度で調整池が空</p>	<p>全体：13.6mm/h</p> <p>① 12.4 mm/h (23 時間で空)</p> <p>② 12.5 mm/h (23 時間で空)</p> <p>③ 12.6 mm/h (23 時間で空)</p> <p>④ 12.6 mm/h (23 時間で空)</p>		
	オリフィス	<p>放流口断面</p> <p>① 須川本線 0.0366 m² 以下</p> <p>② 須川桁下 0.0032 m² 以下</p> <p>③ 須川上りPA 0.0224 m² 以下 0.0180 m² 以下</p> <p>④ 須川上りPA 0.0191 m² 以下 0.0189 m² 以下</p>	<p>計画値</p> <p>① 0.0366 m²</p> <p>② 0.0032 m²</p> <p>③ 0.0224 m² 0.0180 m²</p> <p>④ 0.0190 m² 0.0189 m²</p>		
	放流管	<p>流水断面積は管路断面積の3/4 以下</p> <p>①須川本線 必要断面積 0.488 m² 以上 計画放流量 4.267 m³/s</p> <p>②須川桁下 必要断面積 0.147 m² 以上 計画放流量 0.297 m³/s</p> <p>③須川上りPA 必要断面積 0.779 m² 以上 計画放流量 2.362 m³/s</p> <p>④須川下りPA 必要断面積 0.765 m² 以上 計画放流量 1.946 m³/s</p>	<p>①須川本線 3/4 断面積 0.502 m² (φ800) 流下能力 4.446 m³/s</p> <p>②須川桁下 3/4 断面積 0.283 m² (φ600) 流下能力 0.711 m³/s</p> <p>③ 須川上りPA 3/4 断面積 0.785 m² (φ1000) 流下能力 2.385 m³/s</p> <p>④ 須川下りPA 3/4 断面積 0.785 m² (φ1000) 流下能力 2.015 m³/s</p>		
	余水吐の構造	<p>100年確率降雨流量の1.5倍以上</p> <p>① 4.276 m³/s 以上</p> <p>② 0.297 m³/s 以上</p> <p>③ 2.362 m³/s 以上</p> <p>④ 1.946 m³/s 以上</p>	<p>① 5.237 m³/s</p> <p>② 0.448 m³/s</p> <p>③ 2.618 m³/s 3.491 m³/s</p> <p>④ 2.327 m³/s 2.909 m³/s</p>		
水資源の確保	<p>*水量の確保</p> <p>*濁水の流入による水質悪化が無いこと</p>	<p>著しい支障が無いこと</p> <p>必要がある時は、貯水池または導水路の設置</p> <p>その</p> <p>他の措置をすること</p> <p>土砂の流出による水質の悪化を防止すること</p>	<p>水源を依存する地域は無い。</p> <p>仮設沈砂池(工事中)、沈砂枡(施工後)、土砂留柵を設置する。</p> <p>本線の雨水は直接放流させず油水分離枡を経由させる。</p> <p>水質確保のため沈砂池、堆砂枡を設置している。</p>	適	
環境の保	<p>森林率</p> <p>周囲林帯</p>	<p>森林を一時的に転用する場合にあっては、利用後における現状回復等の事後措置(森林への復</p>	<p>—</p> <p>—</p>	適	

全	残置森林面積	旧)が適切に行われていること。 法面は、可能な限り緑化し、小段には必要に応じ客土等を行い、植栽する。 切土・盛土法面は、適切に緑化 残置・造成森林は、適正に維持管理 市街地・主要道路等からの景観を維持する必要がある場合には、早期緑化に努めること	0.0000 ha		
	造成森林面積		0.5111 ha		
	造成緑地面積		0.5029 ha		
	緑化計画		0.0590 ha		
	その他		5.4449 ha		
		5.4695 ha	切土、盛土法面は養生マットにより緑化する 切土、盛土法面は種子吹付により緑化する		
			小山PAは富士山への眺望地点となる。PAのデザイン検討は今後行うが、PAからの眺望点の確保、緑陰の確保を行う。		

直近の許可申請時の付帯意見への対応

付帯意見（平成28年3月18日答申）	付帯意見への対応等
なし	なし